



Now and Future

DYM×HALZ
HALZ代表
藤田敏克さんへの
インタビュー

皆さんこんにちは！5月からHALZインターンシップに
参加している小林航平です！

インタビュー者の紹介 小林航平

神奈川県出身で現在は産業能率大学情報マネジメント学部
現代マネジメント学科4年生。
経済学の授業にて「ヒト」という経営資源に魅力を感じ、
ヒトのプロフェッショナルである社労士を勉強中

今回はHALZのクライアントでもあり、スポンサーも務めている
株式会社DYMについての特集記事になっております
それではぜひ最後までご覧ください

目次

- 1.株式会社DYMとDリーグ
DYM MESSENGERSの紹介
- 2.HALZ代表 藤田さんに聞く
DYMとHALZ
- 3.編集後記と次回予告

1.株式会社DYMとDリーグ DYM MESSENGERSの紹介

まずは株式会社DYMやDリーグについて簡単にご紹介！

DYMの概要

代表取締役： 水谷 佑毅

設 立 日： 2003年8月22日

本 社： 東京都品川区

**事 業 内 容： Web事業,医療事業,スポーツ事業
etc.**

社 員 数： 2,744名

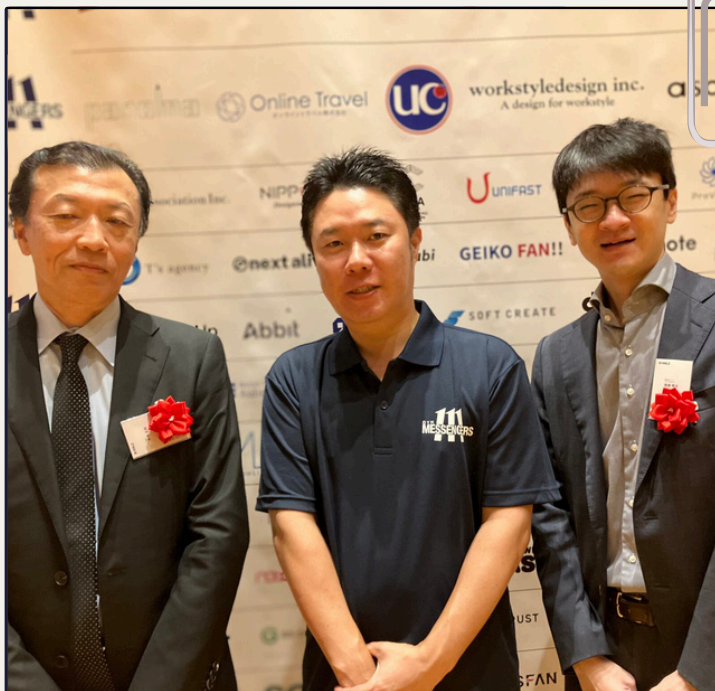
(グループ全体,2025年4月時点)

Dリーグとは👯

Dリーグ (D.LEAGUE) は、2021年に開幕した日本初のプロダンスリーグで、複数の企業がプロダンスチームをサポートし、年間を通じてリーグ形式で対戦。審査員の採点と視聴者の投票によって順位が決まります。ダンスをスポーツやエンタメとして広く普及させることを目的にしており若い世代を中心に注目を集めています。

DYM MESSENGERSってどんなチーム？

DYM MESSENGERSは、HALZのクライアントである株式会社DYMが2023年6月に発足させたプロダンスチームで、ディレクターは30年以上のキャリアを持つTAKUYAが務めて初年度にチャンピオンシップ3位。多彩なメンバーと現代音楽との融合で“メッセージ”を発信しています



左からHALZ CKO 岸本さん
株式会社DYM 水谷佑毅 社長
HALZ堀越さん



DYM MESSENGERS
のメンバー

2.HALZ代表 藤田さんに聞く！

DYM×HALZ



DYMとの出会いとDYM代表水谷佑毅社長について

Q:DYM様とはどのような出会いだったのですか？また、DYM代表の水谷社長についても知っていることがあったら教えてほしいです

藤田さん：DYM様との出会いは先方がまだスタートアップ企業だった頃です。初めは就業規則の整備や労務相談、労働基準監督署への対応、さらに採用支援や助成金の提案などを行いながら関係がスタートしました。DYM代表の水谷社長とは当時からやり取りしていました。水谷さんは杏林大学の医学部をご卒業されていて、医師免許もお持ちですが臨床医にはならないで、学生時代から*SEOの会社を立ち上げて起業されたんです。医学部出身で起業家というまさに異色の経歴ですね。そして水谷社長の凄さとして事業を生み出すセンスがとにかく素晴らしい方です。SEOの会社を皮切りに、新卒紹介、クリニックの展開、健康診断、サステナビリティ関連の会社など次々に事業を立ち上げてグループ化していきました。今では毎年何百人もの新卒社員を採用するまでに成長されています。

そんな大企業であるDYM様との関係が今も続いているのは、金沢支社の原田リーダーがDYM様の様々なサポートを地道にミスなく丁寧に行ってきたことが大きいと思います。

*SEO…ウェブサイトを検索エンジンの検索結果で上位に表示させるための施策

社員の福利厚生にも活用！ DYM MESSENGERSへの支援

Q:どのような形でHALZはDYM MESSENGERSをサポートしていますか？

藤田さん：我々は他のスポンサー企業と同じような支援を行っています。ただ、それだけで終わらせたくなかったんですよ。今やダンスは、義務教育の体育の授業にも取り入れられている時代ですから。そうした中でダンスに情熱をかける、ひたむきに取り組む若い人たちを応援したいという思いが私の中では強かったです。

もちろん損得勘定もゼロではないですが、それよりも「創業時からのご縁を大切にしたい」という気持ちのほうが大きいですね。そして私はHALZの社員や在宅勤務のスタッフに対して福利厚生の一環としてDリーグの観戦チケットを使えるようにもしております！そのため社員・在宅勤務のスタッフ関係なくどんどん利用していただきたいと思います。

「社労士法人だから」は関係ない

Q:「社会保険労務士法人がダンスチームのスポンサーをするのは珍しい」と感じる方も多いと思いますが、その点はどうお考えですか？

藤田さん：確かにそう感じる方もいらっしゃると思います。でも、それは世の中の多数派がやっていないから、違和感を持たれるだけなんですよ。私たちは「社労士法人」という形ではありますが、実際には経営・人事コンサルティングや制度設計、採用支援、給与・労務といった幅広い領域に関わっています。なので、あくまで一つの「企業」として、社会との関わり方を模索しているんです。「社労士法人なのに…」と言われるより、「企業として面白い取り組みをしている!」と思っていただけた方がうれしいですね。

DYMとの未来について～“関係の深化”で支援は広がる～

Q:今後、DYM MESSENGERSさんとはどのような関わり方をしていきたいと考えていますか？

藤田さん：現時点では「継続」が一番大事だと考えています。

ただ、社員がこの取り組みに興味を持ってチケットを活用して観戦したり、SNSで感想を発信してくれたりなどのそうした動きが増えれば、支援の幅をさらに広げていきたいですね。

たとえば、在宅勤務のスタッフが「ぜひ実際に試合を見てみたい」と東京に足を運ぶような動きが出てくれば、もっと多くのチケットを配ったり、応援グッズを提供したりすることも考えています。このように支援の幅を広げていき「スポンサー」という枠を超えた、企業文化の一部としての関われたら最高ですね。

私たちは「仕事のための福利厚生」ではなく、「人の心を動かすきっかけ」として、こうした取り組みを大切にしたいと思っています。

藤田さん貴重なお話ありがとうございました！

編集後記と 次回予告

編集後記

まずはここまで読んでいただきありがとうございます！

藤田さんのお話を中心にDYM様やHALZがスポンサーを務めているDYM MESSENGERSについて、さらに我々HALZの目指しているゴールについてご理解深まりましたでしょうか？
DYM様との歩み始めのことやスポンサーを務めるだけではないことなどが藤田さんとのインタビューにてとても伝わってきました。私もぜひDYM MESSENGERSの試合を観戦してみたくなってきました！そして次回予告になります

次回予告

次回はD Y M様と長年関係があり、本記事にも登場した金沢支社リーダーである原田弘美さんとのインタビュー記事になっております！
次回もお楽しみに！！